

授業概要

人間文化学科の学生がどの領域においても必要とするリベラル・アーツの基本的な分野を平易な英語で理解することによって、それぞれの専攻する分野で必要となる、さらに高いレベルの英語に進むための基礎的な力を養成する。英文の読解、リスニング、会話の学習を通して基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学びながら教養を深め、多様な分野に関心を持てるように指導する。

授業計画

第 1 回	英語Ⅰの復習と英語Ⅱのオリエンテーション
第 2 回	Unit 11 英語で地理学（1）Pre-Study, A. 英文読解
第 3 回	Unit 11 英語で地理学（2）B. 英会話, D. 練習問題
第 4 回	Unit 11 英語で地理学（3）C. リスニング&英文読解
第 5 回	Unit 13 英語で世界の問題を考える（1）Pre-Study, A. 英文読解
第 6 回	Unit 13 英語で世界の問題を考える（2）B. 英会話, C. リスニング&練習問題
第 7 回	Unit 13 英語で世界の問題を考える（3）D. 英文読解
第 8 回	これまでのまとめと復習
第 9 回	Unit 14 英語で犯罪捜査（1）Pre-Study, A. 英会話
第 10 回	Unit 14 英語で犯罪捜査（2）B. 英文読解
第 11 回	Unit 14 英語で犯罪捜査（3）C. リスニング&英文読解
第 12 回	Unit 15 英語で料理をしてみる（1）Pre-Study, A. 語彙習得
第 13 回	Unit 15 英語で料理をしてみる（2）B. 英会話
第 14 回	Unit 15 英語で料理をしてみる（3）C. 英文読解&D. 練習問題
第 15 回	これまでのまとめと復習
第 16 回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって若干変更されることがある。

到達目標

人間文化学科のどの領域においても必要となる英語の総合的な基礎的学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。

語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し音声を聴き、発音して復習すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は、担当教員によって若干変更されることがある。

定期試験 60% 受講態度 40%

テキスト

- ・教科書名：『Knowledge Expander—English for Liberal Arts—英語で学ぶリベラル・アーツ』
- ・著者名：上村淳子、アイリーン岩崎
- ・出版社名：朝日出版社
- ・出版年（ISBN）：2015年（978-4-255-15562-3）

授業概要

キャンパスライフで使う英語の語彙と表現を学習することによって、英語力の向上を目指す。アルバイト、学生食堂、パーティー企画、道案内など、学生の日常生活を舞台にした会話、文章の読解、その理解を促す文法を学ぶことによって、英語の総合的な基礎運用能力を高められるよう講義する。

授業計画

第1回	英語Ⅰの復習と英語Ⅱのオリエンテーション
第2回	Unit 5 アルバイト: WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK AND READ ALOUD!
第3回	Unit 5 アルバイト: GRAMMAR
第4回	Unit 5 アルバイト: LET' S READ!
第5回	Unit 6 学生食堂: WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK AND READ ALOUD!
第6回	Unit 6 学生食堂: GRAMMAR
第7回	Unit 6 学生食堂: LET' S READ!
第8回	まとめと復習
第9回	Unit 7 パーティ企画: WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK AND READ ALOUD!
第10回	Unit 7 パーティ企画: GRAMMAR
第11回	Unit 7 パーティ企画: LET' S READ!
第12回	Unit 8 道案内: WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK AND READ ALOUD!
第13回	Unit 8 道案内: GRAMMAR
第14回	Unit 8 道案内: LET' S READ!
第15回	まとめと復習
第16回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって若干変更されることがある。

到達目標

キャンパスライフで使う英語を学習することによって、英語の総合的な基礎学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し音声を聴き、発音して復習すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は、担当教員によって若干変更されることがある。

定期試験 60% 受講態度 40%

テキスト

- ・教科書名：『Let' s Read Aloud & Learn English: On Campus 音読で学ぶ基礎英語（キャンパス編）』
- ・著者名：角山照彦、Simon Capper
- ・出版社名：成美堂
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-7919-7182-4）

授業概要

4 技能をバランスよく学習し、個人、ペア、グループ活動を通して英語の実用的なコミュニケーション能力の増強を目指して指導する。日常生活での英会話、アカデミックライティング、プレゼンテーション、スピーチの方法を習得また、将来、教育現場で使える英語表現を学び、子ども対象のアクティビティ等も取り入れる。また、指導法のワークショップを実施する。

授業計画

第 1 回	Unit 5: 家族について話す
第 2 回	Unit 5: 家族について話す
第 3 回	Unit 5: まとめ&小テスト
第 4 回	Unit 6: スポーツについて話す
第 5 回	Unit 6: スポーツについて話す
第 6 回	Unit 6: まとめ&小テスト
第 7 回	Unit 7: 趣味、週末のアクティビティについて話す
第 8 回	Unit 7: 趣味、週末のアクティビティについて話す
第 9 回	Unit 7: まとめ&小テスト
第 10 回	Unit 8: 場所の説明する
第 11 回	Unit 8: 場所の説明をする
第 12 回	Unit 8: まとめ&小テスト
第 13 回	指導法ワークショップ①
第 14 回	指導法ワークショップ②
第 15 回	グループプレゼンテーション
第 16 回	期末筆記試験

到達目標

1. 世界で活躍するための英語表現を身につけ、自分の考えや意見を英語で発信し、英語でコミュニケーションをとることができる。
2. 教育現場において必要な英語力を身につけることができる。

履修上の注意

Unit 毎に小テスト実施。テキストは毎回必須。書き込みのないものを準備する Level1 での代替可。(英語Ⅱでも同じテキスト使用)

予習・復習

テキストの新出単語を予習すること。

評価方法

小テスト 15%、授業態度 15%、課題 10%、プレゼンテーション 10%、期末試験 50%

テキスト

- 教科書名：Interchange Level 1A Fifth Edition
- 著者名：Jack C. Richards
- 出版社名：Cambridge University Press
- 出版年 (ISBN)：2017 年 (ISBN: 9781009040648)

授業概要

ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶことによって、英語力の向上を目指す。プレゼン準備、電話対応、使用法説明、社内でのコミュニケーションなど、ビジネスマンの日常生活を舞台にした会話、文章の読解、その理解を促す文法を学ぶことによって、英語の総合的な運用能力を高めるられるよう講義する。

授業計画

第1回	英語Ⅰの復習と英語Ⅱのオリエンテーション
第2回	Unit 5 プレゼン準備1：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK & READ ALOUD!
第3回	Unit 5 プレゼン準備1：GRAMMAR
第4回	Unit 5 プレゼン準備1：LET' S READ!
第5回	Unit 6 電話対応：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK & READ ALOUD!
第6回	Unit 6 電話対応：GRAMMAR
第7回	Unit 6 電話対応：LET' S READ!
第8回	まとめと復習
第9回	Unit 7 使用法説明：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK & READ ALOUD!
第10回	Unit 7 使用法説明：GRAMMAR
第11回	Unit 7 使用法説明：LET' S READ!
第12回	Unit 8 オフィストーク1：WARM-UP, LET' S CHECK & READ ALOUD!など
第13回	Unit 8 オフィストーク1：GRAMMAR
第14回	Unit 8 オフィストーク1：LET' S READ!
第15回	まとめと復習
第16回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって若干変更されることがある。

到達目標

ビジネスのさまざまな場面で用いられる英語の語彙と表現を習得することによって、英語の総合的な基礎学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し発音して復習すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は、担当教員によって若干変更されることがある。

定期試験 60% 受講態度 40%

テキスト

- ・教科書名：『Let' s Read Aloud More! 音読で極める基礎英語』
- ・著者名：角山 照彦、Simon Capper
- ・出版社名：成美堂
- ・出版年（ISBN）：2015年（978-4-7919-4786-7）